

## 応答時間 0.5ms により高速搬送なども検知可能！ アンプ内蔵小形光電スイッチ「SA2E形」を新発売

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、従来製品の2分の1となる応答時間 0.5ms の実現により、連続した小型ワークの高速搬送での検知を可能とする、アンプ内蔵小形光電スイッチ「SA2E形」を2021年8月25日（水）よりグローバルで発売いたします。

IDECでは、さまざまな用途に応じて選ぶことができるよう、検出方式、検出距離、検出物体が異なる各種光電スイッチをラインアップしております。今回発売するSA2E形は、偏光回帰反射、距離設定反射、拡散反射、小スポット反射の計4機種となります。

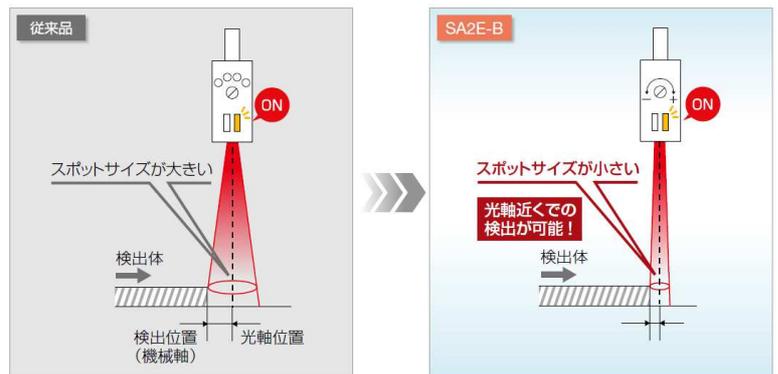


アンプ内蔵小形光電スイッチ「SA2E形」

距離設定反射（BGSタイプ）のSA2E-B形は、従来製品と比べて検出距離が1.75倍に向上しただけでなく、投光スポットサイズを30~40%小さくすることで、検出位置の精度を向上いたしました。これらの性能のアップにより、微小な差異を長距離から検知することが可能となります。

拡散反射タイプのSA2E-D形については、距離別に3種類（100mm、500mm、1m）ラインアップしております。また高い耐環境性能を持っており、-30℃までの低温にも対応していることから、冷凍倉庫などでもお使いいただくことができるようになりました。

環境に配慮した取り組みとして、取扱説明書などのペーパーレス化やラベルレス化も行っております。



### ■ 主な特長

#### 応答時間を向上

- 今までは、高速移動する小型ワークは間隔を空けて検出する必要がありましたが、**応答時間 0.5ms** となったことで、**連続した小型ワークの高速搬送での検知が可能**です。

#### 幅広い製品ラインアップ

- 偏光回帰反射、距離設定反射、拡散反射、小スポット反射形といった検出方式に加え、検出距離、検出物体に応じて選ぶことができるよう、多様な製品ラインアップをご用意しています。

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子  
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com

### ライトオン/ダークオンの切り替え機能を搭載

- 従来製品では、ライトオン（受光部に光が入る際に出力を ON する動作）と、ダークオン（光が入らなくなった際に出力を ON する動作）によって異なる機種をご用意していましたが、SA2E 形では、本体にあるスイッチを切り替えることで、どちらのモードも使用することができます。

### 高い耐環境性能

- 使用周囲温度を従来製品の $-25^{\circ}\text{C}$ から向上し、 **$-30$  から  $55^{\circ}\text{C}$** まで対応することで、冷凍倉庫向け機器にも搭載可能です。

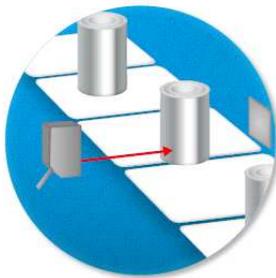
### ■ 主な仕様

検出方式	回帰反射形	反射形				
	偏光回帰反射形	距離設定反射形 (BGS タイプ)	拡散反射形			小スポット反射形
形式	SA2E-P	SA2E-B	SA2E-D			SA2E-N
検出距離	5m	10-350mm <sup>※1</sup>	100mm	500mm	1m	50-150mm
検出物体	不透明体	不透明体	不透明体/透明体			
投光素子	赤色 LED		赤外 LED	赤色 LED	赤外 LED	赤色 LED
応答時間	0.5ms					
保護構造	IP67					
使用周囲温度	$-30\sim+55^{\circ}\text{C}$					
外形寸法	W10,8×D19,5×H31,5					
標準価格 (税抜)	8,400 円	9,800 円	8,620 円			9,800 円
	8,960 円	10,800 円	9,190 円			10,800 円

※1：設定距離 20-350mm

### ■ アプリケーション例

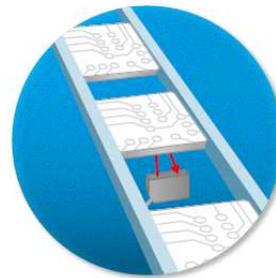
偏光回帰反射形  
鏡面体の通過検出



拡散反射形  
トイレの手洗い



距離設定反射形(BGSタイプ)  
基板検査の基板検出



### ■ アクセサリのご紹介：センサチェッカー「SA1P 形」

現場で各種センサなどの動作検証や導通チェックを行える、手軽に持ち運べるセンサチェッカー「SA1P 形」をアクセサリとしてご用意しております。

SA1P 形は、USB 接続で市販のモバイルバッテリーに接続でき、場所を選ばず DC24V 機器に簡単に通電できる製品です。乾電池を使用せず市販のモバイルバッテリーに接続して使えるため、コスト低減と長時間の使用が可能となります。

また工具なしで簡単に接続できる Push-in 接続方式に対応しており、2 種類の機器を同時に接続することができます。

